

課題名

胸膜癒着術に対する全身ステロイド剤の影響

○研究の目的

滅菌調整タルクを用いて胸膜癒着術を施行された患者において、全身ステロイド剤が胸膜癒着術の成功率へ与える影響について調査します。今後、今回の調査の結果により、胸膜癒着術の施行時の全身ステロイド剤の減量または中止の必要性を検討します。

○研究の方法

平成 25 年 12 月 9 日から平成 29 年 3 月 31 日の間に、広島大学病院呼吸器内科及び呼吸器外科で滅菌調整タルクを用いて胸膜癒着術を施行された方を対象とします。

本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は年齢、体重、性別、投薬歴、検査所見、血液検査（肝機能、腎機能、電解質等）等です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

（研究期間 承認後～平成 32 年 3 月 31 日）

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5579
広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）
薬剤師 石井聡一郎（研究担当者）